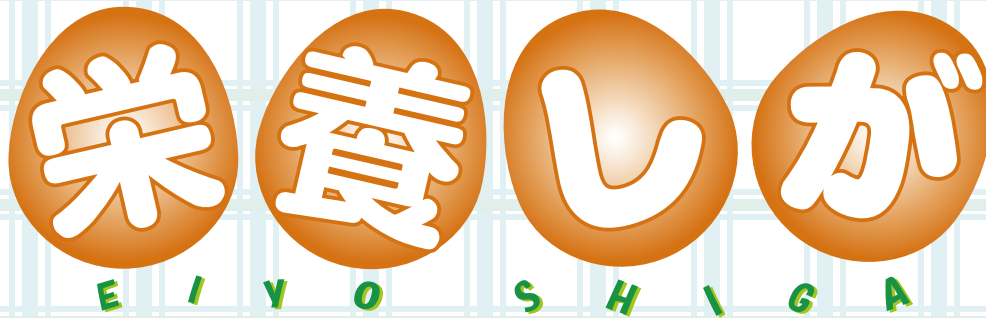




会長あいさつ

公益社団法人滋賀県栄養士会
会長 澤谷 久 枝



2025年を迎え、早3か月が経ちました。物価高騰につけ、おコメ騒動や豪雪による流通不全で不安定な生活を過ごしておられる方がいらっしやと察し致します。いのちに直結する食料は、本来、心身ともに癒されるものでありますが、反面、消費抑制状態では健康を維持することが困難になります。1日も早い平安な日々が来ますように願います。

さて、2024年後期連続テレビ小説『おむすび』で管理栄養士・栄養士が取り上げられる機会を与えられ、「国民に対する管理栄養士・栄養士の認知拡大と職能の理解向上」および「主に若年層をターゲットとした養成校学生・非会員の管理栄養士・栄養士への会員増」を期待しているところです。8月に開催される大阪・関西万博では、「アジア栄養士フォーラム2025」でJapan Nutritionを発信・提案されると聞いております。

当県では、国スポ・障スポ開催県として、標準献立集（デジタルブック）作成とおもてなし開会閉会式典おもてなし弁当部会に関わらせて頂きました。

日本栄養士会ははじめ、当会では、誰一人取り残さない実効性のある栄養改善活動を推進するために、資質向上のための研修、県民の皆さまへの健康維持のための啓発活動、地域栄養ケアでは、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の更なる推進、栄養ケアステーションでの活動強化、災害支援に備え、リーダー・スタッフ養成、新しい話題では、「プレコンセプションケア」における栄養問題への関りについて研修会を展開して参りました。『栄養の力で人々を健康にそして幸せにする』、その使命が私たちに託されています。新年度も各職域を超えて、仲間意識を強め、自己研鑽に努力を惜しまず、社会貢献に取り組んで参りましょう。一年間の活動に対し、多大なご協力を賜りありがとうございました。会員の皆さま、賛助会員の皆さまの引き続きのご協力・ご支援を賜りますように、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



各事業部活動、研修会報告



●総務部・組織部

総務部・組織部では、理事会での協議事項、報告事項の取りまとめや議事録の作成を行いました。

また、ホームページでの研修会の案内など随時更新する他、Instagramを用いた県民への積極的な情報発信に努めました。ホームページなどを活用した情報発信について、ご意見のある方は事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。他にも、各職域事業部と連携を取りながら、会員増加につながる取り組みを行ってきました。引き続き、栄養士の存在や魅力を発信し、会員増加や組織強化につながる取り組みを進めていきたいと思っております。

会員の皆様には、未加入の管理栄養士・栄養士の方々に栄養士会への入会をお勧めいただくとともに、日頃交流のある企業様への賛助会員を依頼いただくなど、ご協力をお願いいたします。

●事業部

滋賀県栄養士再教育講習会事業（県受託事業）

テーマ：「地域と共に築く滋賀の未来

～みんなで支える、みんなで育てる～」

対象者：滋賀県内の管理栄養士・栄養士

開催方法：ライブ配信（Zoom）およびアーカイブ配信（配信期間：3週間）

開催日：第一弾：2024年12月21日（日）13:00～16:30

第二弾：2025年 1月19日（日）9:00～12:30

開催内容：

第一弾：『地域の健康を支える栄養

～滋賀県における栄養施策と地域栄養ケアの広がり～]
「滋賀県の栄養施策の動向

～栄養士・管理栄養士に期待すること～」

講 師：滋賀県健康医療福祉部健康しが推進課

主幹 井上由理 氏

「栄養で広がる地域の輪

～滋賀県栄養士会の地域栄養ケア体制～」

講 師：公益社団法人滋賀県栄養士会

常務理事 清水満里子 氏

第二弾：『次世代を育む栄養ケア

～女性と子どもの健康を支える食の力～]

「プレコンセプションケア

～女性のライフサイクルを通じた栄養の重要性～」

講 師：ハーバード公衆衛生大学院 栄養部門

産婦人科医師 三ッ浪真紀子 氏

「今の小児栄養の問題点

～思春期を前に乳幼児期につけたい食の力～」

講 師：株式会社Dental・RD

代表・歯科管理栄養士コンサルタント 田中美智子 氏

申込者数

第一弾：142名（ライブ36名/アーカイブのみ106名）

第二弾：172名（ライブ30名/アーカイブのみ142名）
参加者数（ライブ配信）

第一弾：25名 第二弾：23名

本事業は滋賀県の委託を受け、非会員の方も含む栄養士・管理栄養士の資質向上を目的に実施しました。

昨年度に引き続き、ライブ配信とアーカイブ配信によるオンライン研修として実施し、4名の講師の先生にご講演いただき、多くの皆様にお申込みいただきました。

ライブ配信では、講師の先生に直接質問していただくことができました。また、第二弾ではアメリカからのライブ配信でご講演いただき、オンライン研修だからこそ実現できた講演となりました。

アーカイブ配信では、ライブ配信では当日の予定が合わない方も参加していただけることや、ご自身のご都合のよい時間帯に視聴していただけることもあり、多くの方に視聴いただきました。

ご参加いただいた方からは「具体的にお話いただき分かりやすかった」「仕事に活用したい」といった感想が寄せられました。栄養士・管理栄養士の活動に活かしていただける講演になったのではないかと思います。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

健康づくり提唱のつどい

開催日：2024年12月15日（日）13:00～17:00

参加者数：55名

開催場所：ウィングプラザ栗東（滋賀県栗東市縄二丁目4-5）

開催内容：

・講演1「腸から健康へー乳酸菌の免疫調整作用ー」

株式会社ヤクルト本社 広報室

課長 有馬直美 氏

・講演2「働く世代への食教育～時間栄養学の視点から～」

兵庫県立大学 環境人間学部

教授 永井成美 氏

・講演3「腸内細菌とビタミンB」

徳島大学大学院医歯薬学研究部

助教 上番増喬 氏

本イベントは、京滋ヤクルト販売株式会社様のご協賛のもと、多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。

当日は、腸内細菌や時間栄養学といった最新の研究をテーマに、3名の専門家をお迎えし、ご講演いただきました。専門的な内容でありながらも、日常生活に役立つ具体的な知識を交えてお話しと、参加の皆様も熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

また、学生の方から一般の方まで幅広い層のご参加があり、「大変勉強になった」「貴重なお話をきけた」といった感想が寄せられました。本イベントを通じて、健康づくりへの関心がより一層高まる機会となったのではないかと

と思います。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



●学術研究部

学術研究部は、「生涯教育研修会」の企画運営を実施しました。

昨年に引き続きオンデマンド研修を中心に対面講義も入れ11講義を開催し、今年は生涯教育研修制度についてのオリエンテーションを追加することで、受講における心構えに変化が見られ、今まで以上に専門性向上に繋がったと感じています。

講義の内容としては、様々な職域で活躍する栄養士に必要な栄養管理のスキルアップから、災害支援についても深く学べる講義を組み入れ、参加者は延べ683名でした。

今後も、認定専門管理栄養士取得を目指すなど、皆様のお役に立つ生涯教育研修会の実施に努めてまいります。

オリエンテーション

開催日：8月1日（木）～1月31日（金）

オンデマンド配信

演 題：「生涯教育制度について」

講 師：公益社団法人滋賀県栄養士会

副会長 富田文代 氏

第1回研修会

開催日：8月1日（木）～31日（土）

オンデマンド配信

演 題：「医療・介護施設・地域の在宅支援連携に必要な栄養士のスキル」

講 師：駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 教授 西村一弘 氏

演 題：「心不全と栄養管理」

講 師：淡海医療センター 心臓血管・心不全センター センター長 和田厚幸 氏

演 題：「離乳期の食支援」

講 師：大阪母子医療センター 栄養管理室 管理栄養士 西本裕紀子 氏

第2回研修会

開催日：9月21日（土）ハイブリッド開催

演 題：「健康日本21（第三次）の概要と滋賀健康・栄養マップの活用」

講 師：滋賀県立大学 人間文化学部 生活栄養学科 准教授 今井絵理 氏

開催日：9月1日（日）～30日（月）

オンデマンド配信

演 題：「栄養スクリーニングとアセスメント ～GLIM基準を用いた低栄養の診断～」

講 師：帝京平成大学 健康メディカル学部 健康栄養学科 教授・学科長 帝京大学医学部外科科学講座

客員教授 福島亮治 氏

第3回研修会

開催日：10月1日（火）～31日（木）

オンデマンド配信

演 題：JDA-DAT「滋賀県の災害リスク/災害時の対応～滋賀県は災害が少ないってホント～」

講 師：滋賀県 知事公室 防災危機管理局 防災対策室 防災対策係 山本雅貴 氏

演 題：JDA-DAT「平時から知っておきたい災害時の栄養アセスメント」

講 師：（公社）和歌山県栄養士会 JDA-DATリーダー 伊藤智子 氏

演 題 JDA-DAT「滋賀県で災害が起きた時、栄養士に求められる役割とは？～JDA-DATが必要なワケ～」

講 師 （公社）滋賀県栄養士会 JDA-DATリーダー 富田文代 氏

第4回研修会

開催日 12月1日（日）～2025年1月31日（火）

オンデマンド配信

演 題 CS「特定保健指導 行動変容支援 ～ライフスタイル療法の勧め～」

講 師 あだち健康行動学研究所 所長 あだち循環器科内科クリニック副院長 足達淑子 氏

開催日 12月14日（土）対面講義

演 題 「食物アレルギーについて」

講 師 小児医療センター アレルギー科 阿部純也 氏

演 題 「プレゼンテーションの方法について～Canvaを使って資料作成～」

講 師 ICT活用 アドバイザー 谷川 氏



●県民サービス部

食育イベント

コープぜぜ店・コープかたた店のご協力により、7月20日（土）21日（日）、8月24日（土）25日（日）に食育イベントを開催いたしました。会場では1日の野菜摂取量を測るブース、大豆をお箸でつかんで移動させる豆つかみブース、血圧測定ブース、災害食展示とクイズコーナーを設けました。豆つかみと野菜摂取測定ブースでは親子でお箸の持ち方を確認したり、野菜の働きや1日に必要な野菜の量について学んでもらうことができました。

また災害食展示では、備蓄品の種類やどれくらいの量を備蓄しておけばよいか、どこで購入できるかなど熱心に質問されるなど災害に対する備えについての意識の高さが伺えました。血圧測定ブースでは、血圧を正常に保つため

にどのような食生活を送れば良いかアドバイスさせていただきました。休日の開催でしたので朝早い時間帯から多くの方で賑わい用意していたパンフレット類がなくなるほどでした。生活に密着したコープ店舗にて開催できたことが幅広い年代の方に来場いただき食と健康について考える機会に繋がりました。これからも食について啓発する場を作っていきたいと思います。



食と健康展

県民の健康増進と食習慣の改善をはかることを目的として毎年「食と健康展」を開催しています。今年度は令和6年11月10日(日)に、ビバシティ彦根 1F センタープラザにて行いました。

ステージでは紙芝居、大型モニターでは滋賀県栄養士の各事業部の活動紹介と入会案内、健康チェックコーナーでは血圧測定、フレイルチェック、栄養相談を行い、展示コーナーではお弁当コンテストとJDA-DATの紹介と災害時に備えての備蓄・非常食の展示と資料の配布を行いました。

そして今年度も参加型のイベントとしてスタンプラリーを実施いたしました。スタンプラリーは170名、健康チェックコーナーは131名(血圧測定102名、フレイルチェック3名、栄養相談26名)、食育紙芝居(7回)は122名の参加でした。展示コーナーには、お弁当コンテストの投票に247名、JDA-DATに119名の方が参加してくださいました。

ビバシティ彦根での開催は初めてでしたが、大型モニターでの投影は見やすく音声も入れていただいたので多くの方にご案内ができたのではないかと思います。ご協力をいただきました皆様ありがとうございました。



●栄養ケア・ステーション事業

「しが栄養ケア・ステーション」では、昨年まで「しが栄養ケア・ステーションのスキルアップ研修会」として開催しておりましたが、今年度から会員の皆さまだけでなく、会員以外の方も参加していただけるように、滋賀県栄養士の生涯教育研修会として開催することになりました。

今年度は「特定保健指導一行動変容支援」について、あだち健康行動学研究所所長 足立淑子様にWebで講演を

していただきました。特定保健指導と行動療法、肥満の行動療法、実際にICTを使った方法や面接でのポイントなど、特定保健指導はもちろん、それ以外の栄養食事指導などの行動変容に役立つ内容でした。実際の経験など含めて詳しくお話ししていただきました。受講者からは「具体的に実践的な内容で良かった」「わかりやすい内容であった」「行動変容を促すために対象者が自ら目標設定することの大切さを教えていただきました」など好評でした。

今後もより活躍していただけますよう、「しが栄養ケア・ステーション」の登録者だけでなく会員以外の方も参加していただけるような研修会を企画させていただきます。

●JDA-DATしが事業

年々広がりを見せている本事業。今年度は、リーダーが一丸となってより一層注力し、行政栄養士との連携を考えることのできたスタッフ研修会に、他機関・団体からの研修会の講演依頼も増え、躍進の一年となりました。

まず、JDA-DATしがスタッフ養成・フォローアップ研修会は、今年度も高知学園大学 准教授の廣内智子先生に「栄養アセスメントとともに学ぶ、被災地でのコミュニケーションスキル」という内容で講義と演習を進めていただきました。

近畿4府県(滋賀・奈良・和歌山・京都)での合同研修では、滋賀県栄養士会が初めて企画運営を担当し、JDA-DATしがと行政栄養士の連携をテーマに進め、会場である近江八幡市立総合医療センターには、参加府県栄養士会から代表の会長やリーダーがご来場くださいました。講義については、「避難所での栄養アセスメント」をJDA-DAT和歌山の伊藤智子リーダーに、「医療・保健・福祉の連携 ～災害時におけるロジスティクスの重要性～」を済生会滋賀病院 救命救急センター 看護係長/DMAT隊員の若原聖徳先生にお話いただき、「つながり」においても大変実りのあるものとなりました。

また、行政栄養士研修会にもお招きいただき、澤谷久枝会長より「能登半島地震～JDA-DAT活動記録～」、中村有利リーダーより「JDA-DATしがと行政栄養士の連携」という演題で報告いたしました。

その他、滋賀県総合防災訓練の視察や野洲市健康推進連絡協議会からも講演依頼があり、JDA-DATの普及啓発活動も着々と進んでいるところです。

事業の拡大に伴い、リーダーやスタッフ皆様のご協力が不可欠となります。引き続きよろしくようお願い申し上げます。同時に、多くの会員様のスタッフ養成研修会のご受講とJDA-DATしがへのご登録をお待ちしております。



JDA-DATしがスタッフ養成・フォローアップ合同研修会の様子



滋賀県総合防災訓練の様子

お弁当コンテスト

お弁当コンテストは滋賀県内産の食材を使って手軽で栄養バランスのとれたお弁当を募り、地産地消・栄養バランスの大切さを啓発することを目的に実施しました。

中学生以上を対象に募集し、748名の応募がありました。書類審査を行い、グランプリ1点、滋賀めし賞1点、優秀賞3点、優良賞3点を選出しました。また、「食と健康展」会場に作品を掲示し、来場者の投票審査により、おいしが賞5点、うれしが賞5点を選出しました。



近江愛菜弁当

森川 惺成 さん（滋賀大学教育学部附属中学校）

アピールポイント 地産地消を意識して滋賀県の伝統野菜や特産物をふんだんに使いました。味付けはシンプルにして、色どり豊富なカラフル弁当にしました！見た目も良く、野菜たっぷりの愛菜弁当です。

【講評】 まず目を引くのは、お弁当の真ん中にあるマキノ栗の肉団子、その両脇のからすま蓮根のオリーブ焼き、安土信長ねぎのベーコン巻き。そこに多賀にんじんと紫キャベツのラペ、瀬田しじみとわけぎのぬた、舞茸と近江牛のごはんが加わり、彩り豊かな野菜たっぷりのお母さんに向けたすてきなお弁当となっています。滋賀県産の特産品をふんだんに使い、伝統野菜をラペにするなど薄味で栄養バランスよく作られている点を高く評



おつかれ様！ お父さん

松永 和佳奈 さん
（滋賀大学教育学部附属中学校）

【講評】 暑い日が続く中働き、最近お疲れ気味のお父さんに、元気を出してもらいたくて工夫して作られたお弁当。日野菜漬け入り卵焼きは、さっぱりしながらも熱中症対策になるようにも工夫されたとのこと。バターナッツと杉谷なすびの味噌和え、奉荘やまいものもち揚げなど、伝統的な食材をうまくアレンジした点を評価しました。



I ♥ MOTHER & SHIGA

中村 愛実 さん
（滋賀県立大津高等学校）

【講評】 貧血のお母さんが鉄分を摂れ、お弁当の中で滋賀県を楽しめるようにと作られたお弁当。琵琶湖に見立てたご飯の周りに、鉄分が多く含まれる小松菜のナムル、バームクーヘン豚の肉巻き、下田なす、杉谷とうがらしの焼き浸しなどを彩りよく詰め込み、目でも口でも滋賀県を楽しめるように工夫された点を高く評価しました。



離れて暮らす お父さんへ

中川 憧子 さん
（龍谷大学）

【講評】 単身赴任で暮らすお父さんのために、栄養素のバランスを考えて作られたお弁当。瀬田しじみご飯のハートのしじみにお父さんが癒されそうです。卵焼きにほうれん草を入れたり、アスパラガスを豚肉で巻いたりして自然と野菜をしっかりとれるように工夫している点を高く評価しました。



滋賀県の恵み弁当

佐野 真子 さん
（滋賀県立大津高等学校）

【講評】 京都に住んでいる祖母に、滋賀県のおいしい食材や食文化を知ってほしいと作ったお弁当の食材はすべてご近所の農家の方や漁師さんにいただいた新鮮なもの。瀬田しじみの炊き込みごはん、ピワマスのフライ、日野菜の浅漬け、ズッキーニのソテーなど滋賀の食材を彩りよく絶妙なバランスで詰め込んでいる点を高く評価しました。





夏バテ防止 回復弁当

坂田 瑠海 さん
(滋賀県立大津高等学校)



【講評】 お父さんが夏バテすることなく、暑い夏を乗りこえられるようにと、夏野菜を使って作られたお弁当。豚肉に含まれるビタミンで疲労回復、なすやオクラでカリウムをとり、利尿作用で熱を下げ、オクラ、れんこん、赤こんにゃくで食物繊維をとって腸内環境を整えられるようにと、栄養面をしっかりと考え作られた点を評価しました。



お野菜たくさん!!夏にピッタリ のチキンレモン南蛮弁当

池田 夏芽 さん
(滋賀県立大津高等学校)

【講評】 暑い夏を仕事と畑を両立して頑張っているお父さんに、さっぱりした気持ちになってほしくて使ったチキンレモン南蛮がおいしそうなお弁当です。お米はお父さんが作ったキヌヒカリ、それに紫キャベツのラペ、かぼちゃの甘酢和え、オクラの梅肉和えなど、暑い夏でも食欲がそそられるようにと考えられた点を評価しました。



滋賀ピクニック弁当

高岡 志歩 さん (龍谷大学)

【講評】 大阪出身で、滋賀の食材をこのお弁当コンテストを通して初めて知ったとのこと。滋賀県産の食材を楽しみながら、ご両親とご自分に向けて作られた彩り豊かなお弁当です。つまむらさきのおかかごはん、モロコのう巻き、ピワマスのラビコットソースなど、滋賀の食材を上手くアレンジしている点を評価しました。



総 評

「お弁当コンテスト2024」には、中学生、高校生をはじめ大学生まで748名の方が応募してくださいました。審査員全員で、すべてのお弁当に目を通しました。どの人にも賞をあげたいと思える、食べる人のことを思っで作られた心のこもった素敵なお弁当ばかりでした。

お弁当コンテストの課題は、滋賀の主要農産物のひとつである米を主食とし、滋賀県産の食材を使い、100g以上の野菜を使用することに加え、今年度から塩分を2.5g程度に抑えるという課題が加わりました。

野菜を多くとると塩分が増え、昔ながらの料理には塩分が多く含まれているものが多いです。この課題をクリアするために、皆さんのお弁当にはさまざまな工夫がみられました。特に印象的だったのが、滋賀県産の食材を伝統的な味付けだけでなく、オリーブオイル炒め、ラペ、ピクルス、ナムルなどにして薄味でもおいしく食べられように工夫されていた点です。

お弁当コンテストをきっかけに、滋賀県の食材が新しい形で食卓にのぼり、滋賀県民の健康づくりにつながることを願っています。



《おいしが賞》(当日審査)

井上 愛梨さん
奥野 るかさん
岡村 春亜さん
小川 楓加さん
中谷 壮さん

《うれしが賞》(当日審査)

原田 雄飛さん
鈴木 凌空さん
宮川 愛奈さん
竹中 蒼磨さん
秋尾 紗夕さん





各職域事業部活動、研修会報告

地域活動事業部



会員の皆様のご協力により令和6年度事業が順調に実施できましたことに感謝し、お礼申し上げます。

今年度の地域活動事業部では、運営委員会を年2回(7月と1月)開催し、6地区の運営委員さんと各地区の取り組みや工夫を情報共有し、意見交換をしました。その時に、情報があふれている中、離乳食相談でどのように答えたらいいか困る時があるという意見があり、今年度の研修会は離乳食をテーマに開催致しました。

〈滋賀県栄養士会研修会〉

令和6年度 地域活動事業部研修会

日 時：令和7年2月11日(火・祝)

場 所：キラリエ草津市民総合交流センター

講 演：「口腔発達に合わせた離乳食の進め方」
～乳幼児健診時の食事指導ポイント～

講 師：(株) Dental・RD

代表 管理栄養士 田中美智子 氏

参加者数：24名(会員24名)【28名の申し込みがあり、他の事業部の方も含めて24名の参加】

研修会の当日には事業報告会も開催し、その後離乳食の進め方を乳幼児健診時の食事指導ポイントも含めてご講演いただきました。子どもの食べる悩みについての支援方法と解決策、現在の子どもの口腔発達と食の問題点、支援方法を学ばせていただきました。アンケートでは「大変聞きやすく良かった。」「新しい知識の習得が出来た。」という意見も多く、具体的な指導方法を学び、日頃の業務に大いに活かせる内容でした。対面で研修会を開催し、グループワークで症例検討し会員同士のつながりが出来、それぞれの意見交換が出来る貴重な時間となりました。

〈その他の研修会〉

①令和6年度地域活動事業部近畿ブロック研修会

日 時：令和6年9月28日(土)

13:30～16:30

会 場：大阪府栄養士会事務局+オンライン

参加数：64名(会場12名Zoom参加52名)

講 演：若い世代への食支援「プレコンセプションケア」
～若いうちから身につけよう健康的な体作り～

講 師：大阪公立大学大学院看護学研究科

教授 渡邊香織 氏

葉酸について～プレコンへの取り組み～

大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 赤木大輔 氏

情報交換：近畿圏の管理栄養士・栄養士の活動について
(各府県が発表)

②2024年度フリーランス・栄養関連企業等管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会(オンライン)

日 時：令和6年12月8日(日) 13:00～17:00

講 演：「政策的に事業を推進するための職域再編について」

講 師：(公社)日本栄養士会副会長 鈴木志保子 氏
グループワーク

「職域統合の相乗効果から活躍の場を広げる」

③フリーランス・栄養関連企業等管理栄養士・栄養士育成のための全国研修会(オンライン)

日 時：令和7年2月2日(日) 13:00～16:30(Web)

講 演：「フリーランス・栄養関連企業等管理栄養士・栄養士に期待すること」

講 師：(公社)日本栄養士会代表理事会長 中村丁次 氏

日本栄養士会は昨年より地域活動事業部と勤労者支援等が統合し、フリーランス・栄養関連企業等事業部となりました。他職種連携をし相乗効果から会員の皆様がさらに活躍の場を広げていけるように、企業の健康経営に携わって

いくことの大切さをご講演いただきました。今後は他職種連携し会員同士の交流の場を設け情報共有し、スキルアップ出来る研修会を企画していきたいと考えています。皆様のご参加とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



公衆衛生事業部



公衆衛生事業部では、誰一人取り残さない食環境づくりを進めるために地域の実情に応じたよりきめ細やかな環

境整備について考えることを目的として、公衆衛生事業部研修会を開催しました。

日 時：令和7年1月20日（月）10：30～12：30

場 所：滋賀県庁東館7階大会議室

内 容：（講義）「自然に健康になれる食環境づくり」について

講 師：龍谷大学農学部食品栄養学科 教授 朝見祐也 氏

（取り組み報告）

①働き盛り世代を対象とした取り組み

滋賀県健康しが推進課 主幹 井上由理 氏

②食品企業での取り組み

キッコーマン食品株式会社 村井いつき 氏
（グループワーク）

テーマ：自然に健康になれる食環境づくりのための取り組み・必要なこと

参加者数：23名

講義では、朝見先生からは、自然に健康になれる食環境づくりの総論、健康を意識していない方でも食べてみようと思えるような食事・ネーミングの大切さを教えていただきました。また、具体的に産官学で連携されている事例を紹介していただき、今後、取り組みを広げていく際の工夫点を知ることができました。

情報提供では、滋賀県での取り組み、食品企業での取り組みを教えていただき、参加者からも食品企業と連携する際のポイントが分かったという感想がありました。

グループワークでは、他所属市町の取り組み、職域を超えての取り組みを情報交換することができ、今後の活動のヒントになりました。公衆衛生事業部以外の参加者、会員

外の参加者もおられ、様々な活動を共有する機会とすることができました。

今年度は、県主催の行政栄養士研修会と同日開催することで、昨年度よりも多くの方に参加いただくことができました。次年度も多くの方にご参加いただけるように会



員の皆様のご意見・ご要望を取り入れ開催できるよう検討してまいりますので、今後ともお力添えいただけますようお願い申し上げます。

医 療 事 業 部



令和6年度の医療・福祉・障害のトリプル改定が行われ、医療と介護の連携についての見直しが行われました。これを受けて、各地域では職域を超えた栄養士の交流が進みつつあります。これからは、各地域の温度差を埋めるような働きかけが必要です。次年度では、医療・福祉・在宅の3領域合同で研修会を企画しています。

また、全国病院栄養部門実態調査を6月に実施いたしました。この際、ご協力いただいた県内施設の担当者の方々にはご協力のお礼を申し上げます。

今年度は、この調査結果についてニーズの高いデータをスライド化し「分析サマリ」として報告書の付属資料とすることが決定しています。会員の皆様にもこれらのデータを活用していただけるのではないかと考えています。

福 祉 事 業 部



今年度の福祉事業部は、「福祉事業部研修会」と高齢・障害・児童の各分野で「情報交換会」を実施いたしました。

福祉事業部研修会

日 時：令和7年2月 2日（日） 10：00～11：30

場 所：滋賀短期大学 3号館 試食室

演 題：「気候風土と食文化 ～魅力的な滋賀の味～」

講 師：滋賀短期大学

生活学科 学科長/教授 中平真由巳 氏

中平先生には、滋賀の郷土料理（ふなすし、えび豆、丁子麩ときゅうりのからし酢みそ、打ち豆汁、でっちゃんかん、発酵チーズケーキ）に加えインディカ米とインディカ米のもち米の食べ比べ等、盛りだくさんにご準備いただき、サロンのような雰囲気海外の食文化から滋賀の食文化・郷土料理についてお話をいただき、伝統料理に誇りや自信を持つことや未来に伝えていくことの大切さを学びました。福祉事業部に限らず他職域からも多くのご参加があり、アンケートでは「次年度も継続してほしい」というお声



もたくさんいただき、大変好評を博す研修会となりました。



情報交換会

【障害・児童】

①9月24日(火) ②11月8日(金) ③1月27日(月)
いずれも15:00～16:30

【高齢】

① 9月27日(金) 19:30～20:30
②10月24日(木) 13:30～14:30
③11月24日(日) 10:00～11:00

今年度は、福祉事業部研修会後ではなく単独で分野別に複数回の開催としました。介護報酬の加算のこと、施設での働き方や献立の作成方法、備蓄食の対応等それぞれに悩みを抱えておられ、参加者で情報を共有して施設へ持ち帰り活かすことのできる内容となりました。福祉施設にご勤務の管理栄養士・栄養士の皆様の参加可能な時間帯、求めておられることなどが把握しきれず今年度は試験的な開催となり、結果的に参加者数は少なく課題も残りましたが、次年度は多くの福祉事業部会員様のご意見・ご要望を取り入れ開催できるよう検討してまいりますので、今後ともお力添えいただけますようお願い申し上げます。

学校健康教育事業部

今年度は、学校健康教育事業部が主となる研修ではなく生涯教育に取り組んだ研修会となりました。

全国リーダー研修会では、栄養教諭等の職務、業務、配置に関する調査から見た課題と展望について教示いただきました。また、各都道府県代表者と栄養教諭業務を充実させるための情報交換を行いました。

次年度は、会員の業務に生かせる情報提供を行うとともに、会員同士の交流の場を設け、会員増に向けた取組を行っていきたくと考えています。引き続き、目の前の児童・生徒の健康を支え、専門性を生かした指導が実践できるように、皆様と一緒に活動していきたくと思います。

研究教育事業部



今年度は、これまで同様に新卒者の方に栄養士会に入会し活動をともにしていただけるよう啓蒙活動に力をいれました。日本栄養士会より提供を受けた、新卒新入会獲得施策「管理栄養士・栄養士になるあなたへ2025」のチラシ・ポスター・カードを配布、説明を県内の栄養士・管理栄養士養成校である、滋賀県立大学、龍谷大学、滋賀短期大学で実施しました。その際、「2024年度 全国栄養士大会・オンライン」参加、栄養士会からのメール配信登録を促しました。学生の皆さんが無料で栄養士についての様々な情報を入手できるため、良い機会になったと思います。これらの取り組みで栄養士会の仲間が一人でも増えることを願います。

研究教育事業部総会ならびに研究教育事業部研修会は、雪が降り天候の悪い中ではありましたが2025年2月8日に龍谷大学にて無事開催することが出来ました。

総会では2024度の実施した関連事業の報告と2025年度に実施予定の事業や役員選出を審議いたしました。引き続き研修会では国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・政策研究センター 国民健康・栄養調査研究室 室長であられる松本麻衣先生をお招きし、「日本人の食事や食行動およびそれらに関連する要因」をテーマにご講演を頂戴いたしました。ご講演では、生活習慣病の発症および重症化の予防は日本における最重要課題の1つであることから、そのリスク要因となる食事や食行動に関するエビデンス構築が求められていること、また食事や食行動に関連する要因は、本人だけでなく、家族や友人を含めた食環境、社会環境などにおける要因まで多岐に渡り概説いただきました。また、国民健康・栄養調査のデータを中心に、日本人の食の現状をライフコース別の問題点をご説明いただきました。さらに、食事や食行動に関連する要因として、本人や周囲の人々からの影響として栄養知識、食環境要因としての中食や外食の摂取頻度が増加、デジタル化が進む中の社会環境要因としてメディア媒体からの情報などについて着目した松本先生の最新の研究成果を紹介いただきました。今後も研究教育事業部では、様々な職域の栄養士・管理栄養士ならびに学生の方に興味を持っていただける研修会を企画していきたくと考えております。





活動紹介

●2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト

日 時：令和7年2月6日（木）16時～

場 所：湖南市『レストラン潮』

主 催：（一社）全国手をつなぐ育成会連合会他

「農×福×食」事業に参加協力の機会を与えていただき、台湾から障がい者とその御家族9組、オーストラリアから3名、当会から管理栄養士が9名、他主催者側から9名、総勢40名の参加でのおもてなしイベントとなりました。

テーマ「知ってほしい。日本(滋賀)の栄養・食。一緒に考えよう。あなたに必要な栄養・食」の鼎談、食育の紙芝居、栄養クイズ。そして、レストラン潮シェフによる美味しいお料理に加え、栄養士会からは、「小鮎煮、丁字麴の酢味噌和え、赤こんにゃく煮、粕汁」を振る舞いました。



●若い世代への食育実践活動（県受託事業）

若い世代の県民が自分の健康や食生活に関心を持ち、「何を」「どれだけ」「どのように」食べたらよいかを具体的に知り生活習慣として食育実践に繋がることを目的とした活動です。県内の管理栄養士・栄養士を目指す学生らにより、同世代の人たちへ食育の取組みも広げています。

- ① 高島高校・安曇川高校にて朝食摂取のアンケートを継続実施
- ② 聖泉大学の学食フェアにて、食育ポスターの掲示とパンフレットの配布。10月
- ③ 聖泉大学の学祭に栄養士会のブース出店。栄養相談と朝食アンケート実施。11月
- ④ 食と健康展にて、養成校の学生が作成した朝食レシピ動画をモニター放映。11月
- ⑤ 滋賀短期大学学生による野菜時短レシピ作成と、立命館大学学生によるレシピ動画撮影のコラボ
- ⑥ Instagramでのコラム配信開始。2月



学祭での様子

事務局だより

1. 令和7年度通常総会について

令和7年度通常総会は、下記のとおり開催する予定です。

開催日：令和7年5月18日（日）

場 所：淡海医療センター

2. 研修会案内等

2025年度より研修会案内等はメールで配信いたします。

栄養士会にメールアドレスを登録されていない方は、事務局までメールでお知らせください。

【事務局】info@shiga-ad.or.jp

理事会だより

- | | | | |
|------|-----------|------|-----------|
| ●第1回 | 5月18日（土） | ●第6回 | 12月15日（日） |
| ●第2回 | 6月 1日（土） | ●第7回 | 1月13日（祝） |
| ●第3回 | 7月 6日（土） | ●第8回 | 2月 8日（土） |
| ●第4回 | 9月16日（祝） | ●第9回 | 3月22日（土） |
| ●第5回 | 11月10日（日） | | |

以上のとおり理事会を行い、各事業の進捗状況の確認や協力について協議を行いました。より良い会の運営に向けて、毎回活発な議論が交わされました。

引き続き、今年度の予算執行状況の確認および来年度の事業計画案、予算案などについて協議します。



ご 案 内



入会のご案内

栄養士会は管理栄養士・栄養士により組織された職能団体です。滋賀県栄養士会では530名もの会員が活動しています。入会して、よき指導者や仲間と学び、一緒に活動しましょう。

●入会のメリット

- *たかめる 無料の各種研修会に参加し、キャリアアップできる
- *あつまる 「日本栄養士会雑誌」や「滋賀県栄養士会の広報誌」で情報収集できる
- *そなえる 万が一の事故に備えて最大一億円の栄養士賠償責任保険に加入できる
- *いかす しが栄養ケア・ステーションの人材バンクに登録し、就職や転職に活かす など

●年会費：14,000円

(入会時のみ別途入会費：1,000円)

●入会の手続きは

- ①栄養士会事務局に直接申し込む
 - ②ホームページから入会申込書をダウンロードして申し込む
 - ③ホームページの入会フォームから申し込む
- 皆様のご入会をお待ちしています。

新卒者の方の特典

2025年度新卒社会人になれる方は、滋賀県栄養士会の会費7,500円は免除されます。

お知らせ

Instagramで、写真や動画を発信しています

滋賀県栄養士会
公式アカウント
<https://www.instagram.com/shiga.eiyou/>



しが栄養ケア・ステーション のご案内

公益社団法人滋賀県栄養士会が開設する「しが栄養ケア・ステーション」は、会員である管理栄養士・栄養士が専門的な立場で県民の皆様が「食を通して生き生きとした健康的な生活」を送れるように応援している機関です。

- 特定保健指導
- 食生活に関する講演・講習会（食育講座・料理教室・食生活習慣病予防講座・介護教室など）
- 栄養相談・食事相談（医療機関・事業所・各種イベントなど）
- 栄養価計算・献立作成に関するアドバイスなど
- 新聞・雑誌への記事掲載など

幅広く対応させていただきます。お気軽にご相談ください。詳しくは滋賀県栄養士会ホームページをご覧ください。お問い合わせ・お申込みは 滋 賀 県 栄 養 士 会 事 務 局 (TEL 077-581-1366・FAX 077-558-6617) までお願いいたします。

しが栄養ケア・ステーション 人材登録のご案内

「しが栄養ケア・ステーション」では、特定保健指導（企業、保健組合）、食生活に関する講演・講習会（食育講座・料理教室・食生活習慣病予防講座・介護予防教室など）栄養相談・食事相談（医療機関・事業所・各種イベントなど）栄養価計算・献立作成に関するアドバイス、新聞・雑誌への記事掲載など、県民の皆様が「おいしく、楽しく、健康的な食生活」を送れるよう事業に応じています。今後も管理栄養士・栄養士の活動拠点として継続的に依頼に応えられるよう、皆様のご協力をお願いいたします。ぜひ「しが栄養ケア・ステーション」へのご登録をお願いいたします。お待ちしております。

登録の際には依頼に応じていただくにあたり、滋賀県栄養士会の生涯教育研修会や日本栄養士会の研修会を受講していただきます様によりお願いいたします。また、いろいろな学会のガイドライン、診療報酬や介護報酬の改定など管理栄養士・栄養士に関する情報が、日本栄養士会から発信されますので是非ご参考にしてください。

編 集 後 記

「栄養しが」発行にあたり、ご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。

コロナ禍以降オンラインでの研修や会議が増え、自宅に居ながら参加できるようになり、自分の趣味や家族と過ごす時間を確保できるようになった方も多いのではないのでしょうか。来年は、どのようなかたちでみなさんに出会えるのか楽しみです。

今回から「栄養しが」は、電子媒体での配信とさせていただきます。今まで同様、より良い情報が発信できるように努めたいと思いますので、今後よろしくお願い致します。

企 業 広 告

私たちは、働く皆様に「快適な眠り」で支えます。



TUK 東洋羽毛関西販売株式会社
〒612-8429 京都府京都市伏見区竹田西段川新町 103 ☎ 0120-104-046
京都営業所

水産加工品

栄養補助食品



ご相談ください

WE MAKE WELL-BEING

ウオキ株式会社

ウオキ株式会社

すむ-す食
つるりん

**舌で
つぶせる**
エリート・ザ・デザート



舌でつぶせる やわらかさ



タナカフーズ株式会社



商品のお問い合わせは

0120-372-406

介護食 **NET**

<https://kaigoshoku.net/>

〒521-1231 滋賀県東近江市能登川町68

